ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより　　令和８年１１月２日発行　第８号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』　　TEL049-222-2753　Fax049-229-1231

一歩ずつ、ひとりだちに向かって

校長　遠山　知子

The road to hitoridachi

１０月の現場実習は、生徒一人ひとりにとって、とても充実した学びの機会となりました。それぞれの実習先で、仕事に対する手応えや達成感を味わった生徒もいれば、自分自身の課題と向き合い、新たな目標を見つけた生徒もいました。どの経験も、自分らしいひとりだちに向けて、大きく一歩を踏み出す機会になったことと思います。

実習を終え、学校に戻ってきた生徒たちの姿や表情からは、全力で実習に取り組んできた充実感とともに、働くことの大変さも伝わってきました。疲れた様子の中にも、自分の力を試し、精一杯やり遂げてきた自信が感じられました。働くことの厳しさを知りながらも、前を向いて挑戦することの大切さを、一人ひとりが実感できたようです。

特に感心したのは、実習後の振り返りです。生徒たちが「これからの学校生活で身につけたい力」について、自分の経験をもとに具体的に考え、明確な目標として言葉にしていました。自分に必要なことを自分で考え、これからの生活の中で実践していこうとする前向きな姿勢に、大きな成長を感じました。

こうした現場実習の成果は、実習先の皆様の温かいご指導はもちろん、日々生徒を支えてくださっている保護者の皆様のご理解とご協力があってこそのものです。心より感謝申し上げます。

さて、１１月は本校の文化祭「輝き祭」が開催されます。働くことに向き合った実習とはまた違った形で、自分のよさや力を発揮し、仲間とともに創り上げる楽しさを味わってほしいと思います。日々の学習や行事を通して、一人ひとりが自分らしく輝き、学校生活をより豊かに楽しめるよう支援してまいります。引き続き、ご協力お願い申し上げます。



現場実習の様子

今月の「ひとりだちへの道」　　2学期の目標は「ひとりだち＋α」です。

本年度の合言葉「ふやす・かためる・つなぐ」

輝き祭のある１１月の目標は「ふやす」です。

「輝き祭」は、本校一番の大イベント です。
- 学習の成果を見える形で「ふやす」
- 仲間との協力を「ふやす」
- 職業班でのコミュニケーションを「ふやす」
- かけがえのない思い出を「ふやす」

〇いつもは話さない人との会話を「ふやす」
コミュニケーションを広げるチャンスです。

〇自分から関わることを「ふやす」
勇気を出して、話しかけてみましょう。

市特生にも ＋（プラス） ご来校した方にも